

## 東通の味を堪能、十割そば

～ひがしどおり新緑そば街道まつり～



会場いっぱいに詰めかけました

5月11日から12日の2日間、村内3地区（大和、目名、砂子又）の会場で「ひがしどおり新緑そば街道まつり」が開催されました。

爽やかな日差しのもと、開始とともに各会場には村内外から多くのお客さんが続々と詰めかけていました。

今回が初めての方やすっかり常連という方、家族連れや友達連れなど様々な方が訪れており、各会場ではそば以外にも、それぞれの地区でとれた野菜や加工品など地場産品の販売も行われるなど、各会場を回る楽しみの一つとなっていました。



地場産食材の販売



お母さんと美味しそうにそばを食べる子供

次回のそば街道まつりは、10月12・13日新そばの季節に開催予定です。少し先になりますが、そばの実を期待しながら、稔りの秋を待ちましよう。皆様是非、お越しください。

## 東京都北区で「祈水」や「東通牛」をトップセールス！



花川 北区長と開会式へ出席

5月11日から12日の2日間、東京都北区赤羽地区で開催された「赤羽馬鹿祭り」に、東通村の特産品が初出店されました。

「赤羽馬鹿祭り」は、戦後の東京都北区赤羽地区で始まったお祭りです。現在では仮装パレードや御輿が練り歩き、毎年40万人が参加する東京都北区最大のイベントです。

今回、当村が初出店したのは、平成16年度から東通★東風塾（山崎孝悦塾長）と東京都北区立浮間小学校が継続してきた交流事業が発展する形で実現したものです。

イベントでは、「赤羽馬鹿祭り」実行委員会からの要望



村長が先頭に立ち東通村をPR

があった「祈水」をはじめとした東通村ゆかりの地酒のほか、のしイカや東通牛など東通村自慢の加工品を出品しました。

2日間のイベントでは越善靖夫村長も現地へ駆けつけ、先頭に立って村産品のトップセールスを行いました。

準備した特産品は2日間でほぼ完売し、素材の良さが光る当村自慢の逸品が、首都圏の消費地でも認められる結果となりました。

今回の初出店のきっかけとなった東京都北区との交流事業は、今年度も引き続き実施されます。更なる交流人口の拡大が期待されることです。